

佳作

わたしとじまりかん

岐阜県 美濃加茂市立古井小学校一年 西田 江里菜

わたしには、こまりかんがたくさんあります。ほかの人だったらきにならないようなことがきになって、おこったりないたりします。じぶんでもいやになるくらい、きもちが大きくゆれます。これでは、がっこうでみんなといっしょになにかをするとき、わたしもまわりもこまってしまうので、わたしはしえんがっきゅうにかよっています。

おおさかというまちには、わたしのような子も、そうではない子も、いっしょのクラスでまなぶ小がっこうがあることを、おかあさんがおしえてくれました。かぞくで、その小がっこうのドキュメンタリーえいがをみました。じゅぎょうちゅうに、きょうしつからとびだしてしまう子がいたり、クラスの子となくりあいのケンカをしてしまう子がいたり、いろんな子がいました。がっこうのせんせいたちは、

すぐくたいへんそうでした。でも、せんせいはなげだしたりしないで、どんな子にもじかんをかけてむきあっていました。それは、ちいきの人たちもおなじでした。わたしには、せんせいもちいきの人たちも、とてもやさしい人にみえました。おとうさんでもおかあさんでもないのに、じぶんのことでおこったりないたりしてくれる人がいる、そんながっこうがあることをしって、すごいなあ、すてきななあとおもいました。

わたしのおかあさんも、わたしがこまってなきさけんでいると、いっしょになっておこったりないたりしてくれそうです。とても大きなこえなので、まわりの人にはめいわくかもしれませんが、わたしにはおかあさんとのそのじかんが大じです。おかあさんが、わたしのことをおもってくれていることがつたわつてきて、わたしはうれいす。おかあさん、ありがとう。

わたしのように、こまりかんがたくさんある子にとって、いっしょになやんだりないたりしてくれる人がいることは、とてもこころづよいとおもいます。もしかしたら、そうではない子にとっても、それはおなじなのかもしれせん。じぶんのことをおもつ

てくれるだれかがいると、きもちがつよくなって、
つらいこともがんばれるような気がします。わたし
は、まだまだできないことがおおくて、まわりの人
たちにたすけてもらうことばかりですが、すこしで
もこまりかんがなくなるようにがんばります。そし
て、大人になったら、わたしとおなじようにくるし
んでいる子どもたちをたすけるしごとをしたいです。